

INFECTIOUS DISEASES WEEKLY REPORT

# TOKYO IDWR

東京都感染症情報センター

## 東京都感染症週報

2019年第52週  
(12月23日～12月29日)

- \* 2020年1月8日現在の情報により作成しています。  
最新のデータは「Web版感染症発生動向」をご覧ください。  
<http://survey.tokyo-eiken.go.jp/>
- \* 今週は感染症豆知識「今シーズンのインフルエンザへの  
対策(小児科の立場から)」も掲載しています。

令和2年(2020年)1月9日発行

編集・発行

東京都健康安全研究センター  
健康危機管理情報課

電話：03-3363-3213(直通)  
FAX：03-5332-7365  
e-mail：www@tokyo-eiken.go.jp

## 全数把握対象疾患 報告数（一類～四類） 2019年52週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		49週	50週	51週	52週	年累計	52週	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	痘そう							
	南米出血熱							
	ペスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二類	急性灰白髄炎							
	結核	61	56	36	65	3,144	456	21,157
	ジフテリア							
	重症急性呼吸器症候群 <sup>*1</sup>							
	中東呼吸器症候群 <sup>*2</sup>							
	鳥インフルエンザ(H5N1)							
鳥インフルエンザ(H7N9)								
三類	コレラ					2		5
	細菌性赤痢	1		1		27	4	140
	腸管出血性大腸菌感染症	3	6		5	388	30	3,739
	腸チフス					3	2	37
	パラチフス					4		21
四類	E型肝炎	2	3	3	1	128	11	490
	ウエストナイル熱							
	A型肝炎	2		1	2	143	4	425
	エキノкокクス症						1	24
	黄熱							
	オウム病					3		13
	オムスク出血熱							
	回帰熱							7
	キャサヌル森林病							
	Q熱							2
	狂犬病							
	コクシジオイデス症							2
	サル痘							
	ジカウイルス感染症							3
	重症熱性血小板減少症候群 <sup>*3</sup>					1		101
	腎症候性出血熱							
	西部ウマ脳炎							
	ダニ媒介脳炎							
	炭疽							
	チクングニア熱			2		11		49
つつが虫病	1	2	4	1	12	28	398	
デング熱	1		2		130	4	461	
東部ウマ脳炎								
鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)								

\*1 病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。

\*2 病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。

\*3 病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		49週	50週	51週	52週	年累計	52週	年累計
四 類	ニパウイルス感染症							
	日本紅斑熱						2	318
	日本脳炎							8
	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病						1	2
	鼻疽							
	ブルセラ症					1		2
	ベネズエラウマ脳炎							
	ヘンドラウイルス感染症							
	発しんチフス							
	ボツリヌス症							3
	マラリア	1			1	22		57
	野兔病							
	ライム病					1		17
	リッサウイルス感染症							
	リフトバレー熱							
	類鼻疽							2
	レジオネラ症	4	1	2	4	187	18	2,314
レプトスピラ症					9	1	32	
ロッキー山紅斑熱								
2020/1/8集計								

( 全数把握対象疾患のコメント・一類～五類 )

〈二類感染症〉

**結核 65件** 患者 44件(肺結核 35件、その他の結核 7件、肺結核及びその他の結核 2件)、無症状病原体保有者 20件、疑似症 1件、年齢は5歳未満 4件、10代 1件、20代 7件、30代 3件、40代 12件、50代 3件、60代 10件、70代 8件、80代 12件、90歳以上 5件、推定感染地は国内 44件、インド 1件、フィリピン 1件、ベトナム 1件、韓国 1件、中国 1件、不明 16件であった。

〈三類感染症〉

**腸管出血性大腸菌感染症 5件** 患者 3件(うちHUS 1件)、無症状病原体保有者 2件、血清型・毒素型はO157 VT1・VT2 1件、O157 VT2 2件、血清型不明VT1 1件、血清型不明VT型不明 1件、年齢は5歳未満 1件、20代 2件、30代 1件、70代 1件、推定感染地は国内 4件、不明 1件、推定感染経路は経口感染 3件、不明 2件であった。

〈四類感染症〉

**E型肝炎 1件** 患者、年齢は50代、推定感染地は国内、推定感染経路は経口感染であった。

**A型肝炎 2件** 患者 2件、年齢は20代 1件、30代 1件、推定感染地は国内 2件、推定感染経路は同性間性的接触 1件、経口感染 1件、A型肝炎ワクチン接種歴無し 1件、不明 1件であった。

**つつが虫病 1件** 年齢は70代、推定感染地は国内であった。

**マラリア 1件** 病型は熱帯熱、年齢は70代、推定感染地はベナンであった。

**レジオネラ症 4件** 病型は肺炎型 4件、年齢は60代 1件、70代 1件、80代 1件、90歳以上 1件、推定感染地は国内 3件、タイ 1件、推定感染経路はすべて不明であった。

〈五類感染症〉

**アメーバ赤痢 1件** 病型は腸管、年齢は50代、推定感染地および推定感染経路は不明であった。

**ウイルス性肝炎 1件** B型、年齢は50代、推定感染地は国内、推定感染経路は異性間性的接触、B型肝炎ワクチン接種歴無しであった。

**カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 6件** 病原菌はエンテロバクター・クロアカ 1件、エンテロバクター・アスプリエ 1件、クレブシエラ・アエロゲネス 2件、大腸菌 2件、年齢は40代 2件、50代 1件、70代 1件、80代 2件、推定感染地は国内 4件、不明 2件、推定感染経路は手術部位感染 1件、以前からの保菌 1件、不明 4件、90日以内の海外渡航歴すべて無しであった。

## 全数把握対象疾患 報告数（五類） 2019年52週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		49週	50週	51週	52週	年累計	52週	年累計
五 類 (全 数 届 出 )	アメーバ赤痢	2	2	3	1	155	13	844
	ウイルス性肝炎（A型・E型を除く）	3	1	2	1	98	2	327
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	4	3	7	6	236	37	2,311
	急性弛緩性麻痺（急性灰白髄炎を除く） <sup>*1</sup>		2			7		78
	急性脳炎 <sup>*2</sup>	3	3		1	81	45	952
	クリプトスポリジウム症					4		19
	クロイツフェルト・ヤコブ病				2	19	6	191
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3	3	2	5	126	13	923
	後天性免疫不全症候群	9	8	10	16	406	20	1,225
	ジアルジア症	1	1		1	12	1	53
	侵襲性インフルエンザ菌感染症		1	3	3	85	12	539
	侵襲性髄膜炎菌感染症			1		5		48
	侵襲性肺炎球菌感染症	8	7	10	16	382	89	3,321
	水痘(入院例に限る)	1	6	1	3	80	10	489
	先天性風しん症候群					2		4
	梅毒	38	29	20	33	1,711	75	6,577
	播種性クリプトコックス症					12	4	155
	破傷風					8	2	125
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症					8	2	80
百日咳	18	13	17	10	1,340	179	16,785	
風しん	2	2			860	12	2,306	
麻しん	2	1			124		744	
薬剤耐性アシネトバクター感染症					2		24	
2020/1/8集計								

\*1 2018年5月1日より追加指定された。

\*2 ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

**急性脳炎 1件** 病原体はインフルエンザウイルスA型、年齢は50代、推定感染地は国内、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染であった。

**クロイツフェルト・ヤコブ病 2件** 孤発性-古典型CJD 2件、年齢は60代 1件、70代 1件であった。

**劇症型溶血性レンサ球菌感染症 5件** 血清群はA群 5件、年齢は70代 2件、80代 2件、90歳以上 1件、推定感染地は国内 5件、推定感染経路は創傷感染 3件、不明 2件であった。70代 1件、80代 2件は患者の死亡が確認された。

**後天性免疫不全症候群 16件** AIDS 2件、無症候キャリア 9件、その他 5件、性別は男性 15件、女性 1件、AIDS患者の年齢は40代 1件、50代 1件、無症候キャリア及びその他の年齢は20代 5件、30代 6件、40代 2件、50代 1件、推定感染地は国内 16件、推定感染経路は性的接触 16件(同性間 14件、異性間 2件)であった。

**ジアルジア症 1件** 年齢は20代、推定感染地はインド、推定感染経路は経口感染であった。

**侵襲性インフルエンザ菌感染症 3件** 血清型はすべて検査未実施、年齢は30代 1件、70代 1件、80代 1件、推定感染地は国内 3件、推定感染経路は接触感染 1件、不明 2件、ヒブワクチン接種歴無し 1件、不明 2件であった。

**侵襲性肺炎球菌感染症 16件** 血清型はすべて検査未実施、年齢は10歳未満 6件(うち5歳未満 4件)、30代 1件、50代 1件、60代 1件、70代 4件、80代 2件、90歳以上 1件、推定感染地は国内 15件、不明 1件、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染 3件、不明 13件、肺炎球菌ワクチン接種歴は13価4回接種済み 2件、7価3回・13価1回接種済み 1件、価数不明4回接種済み 2件、13価3回接種済み 1件、無し 5件、不明 5件であった。

**水痘(入院例) 3件** 検査診断例 2件、臨床診断例 1件、年齢は30代 1件、50代 2件、推定感染地は国内 2件、不明 1件、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染 1件、不明 2件、水痘ワクチン接種歴無し 1件、不明 2件であった。

**梅毒 33件** 患者 21件(早期顕症梅毒Ⅰ期 7件、早期顕症梅毒Ⅱ期 13件、晩期顕症梅毒 1件)、無症候梅毒 12件、性別は男性 25件、女性 8件、年齢は20代 13件、30代 8件、40代 6件、50代 5件、70代 1件、推定感染地は国内 29件、国外(渡航先不明) 1件、不明 3件、推定感染経路は性的接触 30件(同性間 10件、異性間 15件、性別不明 5件)、不明 3件であった。

**百日咳 10件** 年齢は10歳未満 2件、10代 4件、20代 1件、30代 1件、40代 1件、50代 1件、推定感染地は国内 9件、不明 1件、百日咳含有ワクチン接種歴は4回接種済み 4件、不明 6件であった。

※ 第51週該当として〔五類〕後天性免疫不全症候群 2件、梅毒 2件の追加報告があった。

# 定点把握対象疾患 報告数 2019年52週

上段: 報告数  
下段: 定点当たり

定点種別	対象疾患	2019年				報告 医療 機関数	定点 医療 機関数
		49週	50週	51週	52週		
小児科	RSウイルス感染症	58 0.22	44 0.17	65 0.25	68 0.26	261	264
	咽頭結膜熱	141 0.54	159 0.61	145 0.56	154 0.59		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	948 3.63	1,010 3.87	989 3.79	863 3.31		
	感染性胃腸炎	1,922 7.36	2,186 8.38	2,639 10.11	2,683 10.28		
	水痘	164 0.63	246 <b>0.94</b>	191 0.73	163 0.62		
	手足口病	374 1.43	305 1.17	246 0.94	203 0.78		
	伝染性紅斑	32 0.12	25 0.10	28 0.11	32 0.12		
	突発性発しん	98 0.38	113 0.43	107 0.41	104 0.40		
	ヘルパンギーナ	43 0.16	26 0.10	29 0.11	31 0.12		
	流行性耳下腺炎	15 0.06	11 0.04	16 0.06	14 0.05		
	川崎病 <sup>*1</sup>	6 0.02	8 0.03	5 0.02	4 0.02		
	不明発しん症 <sup>*1</sup>	27 0.10	11 0.04	9 0.03	15 0.06		
	インフルエンザ	インフルエンザ <sup>*2</sup>	4,293 <b>10.34</b>	7,019 <b>16.87</b>	9,340 <b>22.45</b>		
眼科	急性出血性結膜炎				1 0.03	37	39
	流行性角結膜炎	13 0.34	14 0.37	11 0.30	21 0.57		
基幹	細菌性髄膜炎 <sup>*3</sup>	1 0.04	1 0.04		1 0.04	24	25
	無菌性髄膜炎	2 0.08	1 0.04	2 0.08	2 0.08		
	マイコプラズマ肺炎	17 0.68	15 0.60	16 0.64	13 0.54		
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	1 0.04		1 0.04	2 0.08		
	感染性胃腸炎(ロタウイルス) <sup>*4</sup>						
	インフルエンザ入院	21 0.84	70 2.80	84 3.36	100 4.17		

2020/1/8集計

\*1 不明発しん症、川崎病 は東京都が独自に指定する疾患である。

\*2 鳥インフルエンザを除く。

\*3 インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。

\*4 病原体がロタウイルスであるものに限る。

## ( 今週の注目される定点把握対象疾患 )

- ・ インフルエンザの定点当たり報告数は微増に留まっています。報告数は、小・中学生(5~14歳)を除く年齢階級で増加しています。
- ・ 感染性胃腸炎は今後の動向に注意が必要です。

## 定点把握対象疾患 報告数【年齢階級別】 2019年52週

	小児科										
	RS ウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎	川崎病
～5か月	8			24		2		1			
6～11か月	19	8	6	135	3	9		23			
1歳	24	25	19	437	7	58	3	53	6		
2歳	9	33	55	300	7	32	1	15	2	2	2
3歳	4	18	70	237	7	30	3	3	3	1	
4歳	2	29	104	272	10	28	3	2	2		1
5歳		12	116	218	20	15	8	4	1	1	1
6歳		15	95	152	22	9	10	1	3	4	
7歳		7	115	130	28	6	1	1		2	
8歳		2	98	115	24	5	1	1			
9歳			59	83	14	5	1			1	
10～14歳	1	2	83	207	21	2	1		2	3	
15～19歳			2	54					1		
20～29歳	1	3	41	319		2			11		
30～39歳											
40～49歳											
50～59歳											
60～69歳											
70～79歳											
80歳以上											
合計	68	154	863	2,683	163	203	32	104	31	14	4
先週比	3	9	-126	44	-28	-43	4	-3	2	-2	-1

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。  
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

	小児科	インフルエンザ	眼科		基幹					
	不明 発しん症	インフル エンザ	急性出 血性結 膜炎	流行性角 結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズマ 肺炎	クラミジ ア肺炎	感染性 胃腸炎 (ロタウイルス)	インフル エンザ 入院
～5か月		29								8
6～11か月		105								
1歳	3	311								4
2歳	2	254								5
3歳	2	321								7
4歳	5	529					2			7
5歳		495					1			4
6歳	3	581					3			1
7歳		649		2			1			1
8歳		607		2						
9歳		520		1						1
10～14歳		1,558					3			6
15～19歳		405					1	1		1
20～29歳		502	1	2						1
30～39歳		688		3			2			2
40～49歳		1,094		5	1			1		4
50～59歳		531		4		1				8
60～69歳		226		2						8
70～79歳		140								10
80歳以上		50				1				22
合計	15	9,595	1	21	1	2	13	2		100
先週比	6	255	1	10	1		-3	1		16

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。  
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

定点把握対象疾患 定点医療機関当たり報告数 【保健所別】 2019年52週

	小児科										
	RS ウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎	川崎病
千代田	0.67	0.33	1.00	4.33	0.33			0.33			
中央区		0.67	2.67	25.67	4.00	1.67		0.67	0.67		
みなと	0.17	1.33	3.33	10.33	0.50			0.33		0.17	
新宿区	0.75	0.50	2.75	6.63	0.13		0.38	0.13			
文京	0.25	0.25	0.75	5.25	2.75	0.25	0.25	0.50			
台東	0.50	2.25	5.50	18.50	0.50	1.50	0.50	0.25			
墨田区		0.20	3.80	5.60				0.60			
江東区	0.33	0.11	8.56	9.44	1.44	0.89		0.33			
品川区		1.13	1.00	11.50	1.38	1.38	0.25	0.13		0.13	
目黒区	0.20	0.80	3.60	11.00	0.40	0.20					
大田区	0.25	0.25	3.92	10.83	0.33	0.08	0.08	0.75		0.25	0.08
世田谷	0.13	0.25	2.56	11.06	0.56	0.63		0.19	0.06		
渋谷区	0.25	0.25	0.50	9.25	0.25	0.50					
中野区		0.67	4.50	9.00	1.33	1.17	0.17	0.67		0.50	
杉並		0.55	1.45	10.91	0.09	0.45	0.18	0.27			0.09
池袋	0.60	0.60	0.40	2.00					3.20		
北区	0.29	0.14	1.86	10.71		1.00		0.29	0.14		
荒川区	0.50	0.75	4.75	13.50	0.75	0.25	0.50	0.75		0.25	
板橋区	0.11	0.11	2.00	10.22	0.33			0.22			
練馬区		0.77	4.08	9.08	0.15	0.23	0.15	0.38			0.08
足立	0.77	0.62	2.23	7.69	0.15	0.92		0.23	0.15		
葛飾区	0.25		2.63	13.25	0.50	0.50	0.13	0.50			
江戸川	0.08	0.67	4.50	13.83	0.50	0.17	0.25	0.17	0.17	0.08	
八王子市	0.73	0.64	7.00	15.36	1.45	2.45	0.18	0.45	0.09		
町田市	0.13	0.50	4.75	11.25	0.63	2.75	0.13	0.50			0.13
西多摩	0.13	0.38	3.25	7.88	0.63			0.13			
南多摩	0.11	0.22	2.22	8.56	0.11	1.44	0.11	0.33		0.22	
多摩立川	0.07	0.43	1.14	11.07	0.57	1.14		0.14			
多摩府中	0.19	1.05	3.33	8.52	0.57	1.00	0.29	0.67	0.29	0.05	
多摩小平	0.57	1.29	5.29	10.79	1.21	1.29	0.14	1.36		0.07	
島しょ	1.00										
東京都	0.26	0.59	3.31	10.28	0.62	0.78	0.12	0.40	0.12	0.05	0.02

	小児科	インフルエンザ	眼科		基幹					
	不明発しん症	インフルエンザ	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	インフルエンザ入院
千代田		21.75			0.50	0.50	0.50			0.50
中央区		14.00		4.00						
みなと		17.67						2.00		1.00
新宿区		15.67				0.50	0.50			3.00
文京		26.14								3.00
台東	0.25	18.71								
墨田区	0.20	16.00					1.00			6.00
江東区	0.11	21.50								
品川区		12.75								
目黒区		17.88								
大田区	0.08	19.00					1.00			3.00
世田谷	0.13	23.08								11.50
渋谷区		14.57		3.00			5.00			3.00
中野区		23.90								
杉並		22.06		1.00			1.00			7.50
池袋		20.75		3.00						
北区		19.64								
荒川区		26.00								
板橋区		21.00								1.00
練馬区	0.15	17.71								
足立	0.15	23.30		1.00						
葛飾区	0.25	25.85					2.00			7.00
江戸川		20.11	0.50	0.50						
八王子市	0.18	38.00								2.00
町田市		32.69								
西多摩		22.93								2.00
南多摩		29.29								
多摩立川		20.24		2.00						4.00
多摩府中	0.05	28.34		1.50						7.50
多摩小平		33.32								4.00
島しょ		30.50								

東京都	0.06	23.18	0.03	0.57	0.04	0.08	0.54	0.08		4.17
-----	------	-------	------	------	------	------	------	------	--	------



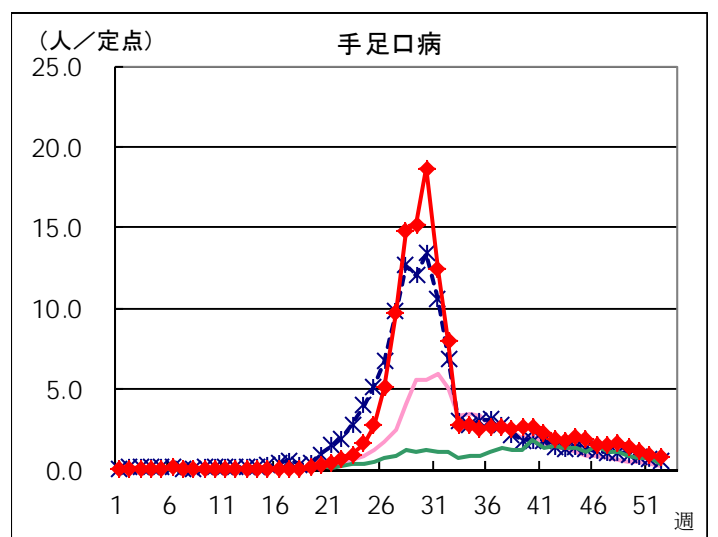
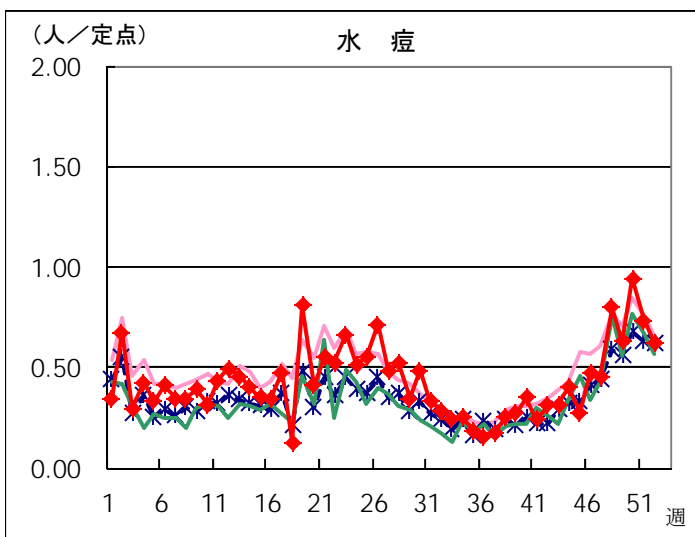
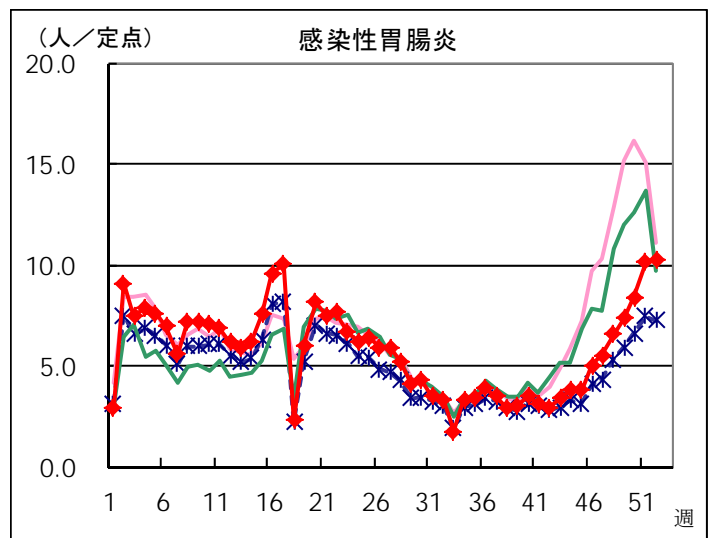
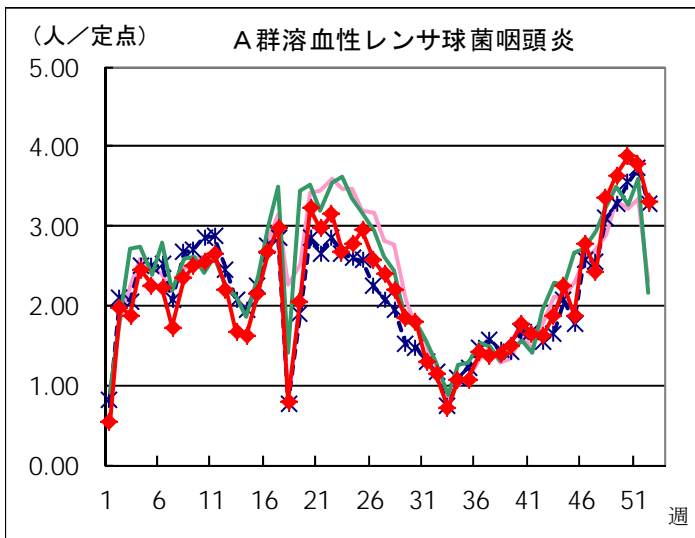
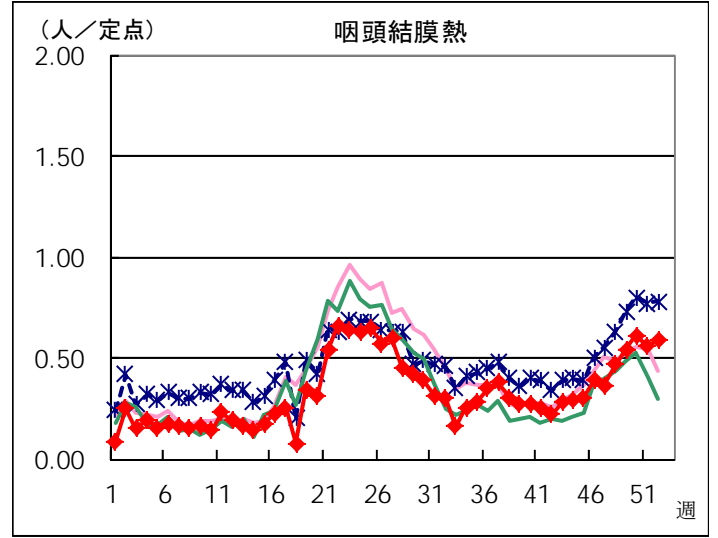
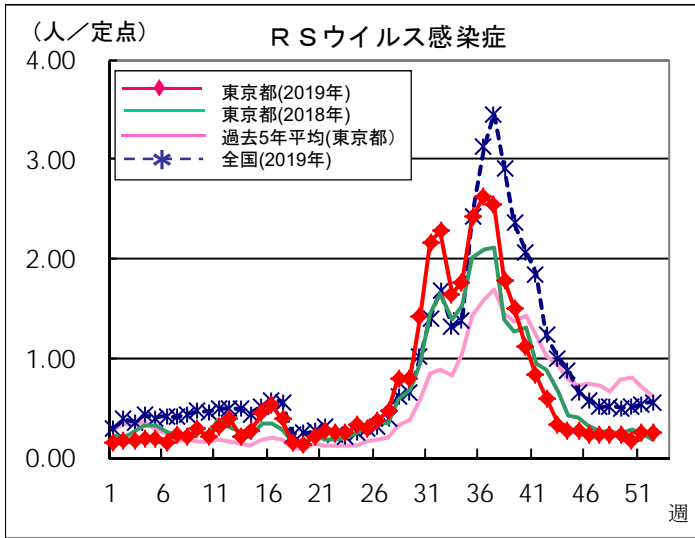
## 定点把握対象疾患 報告数【保健所別】 2019年52週

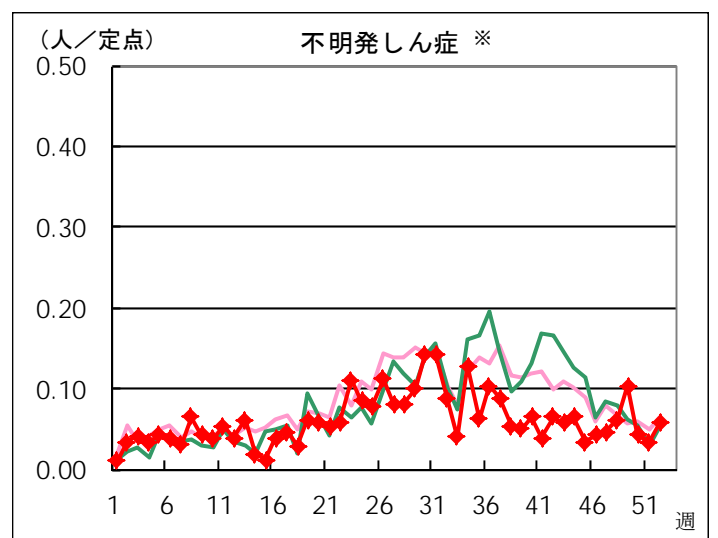
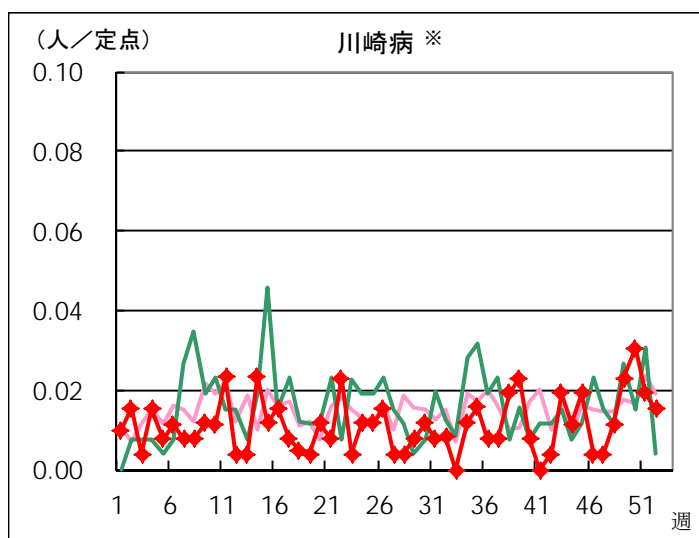
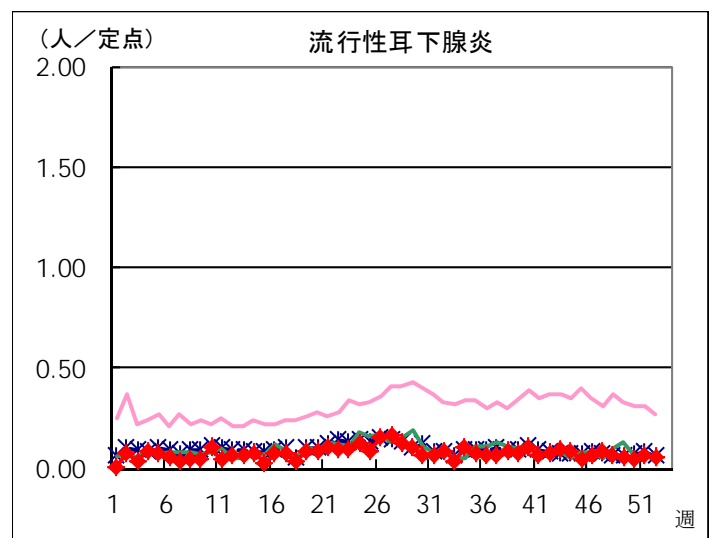
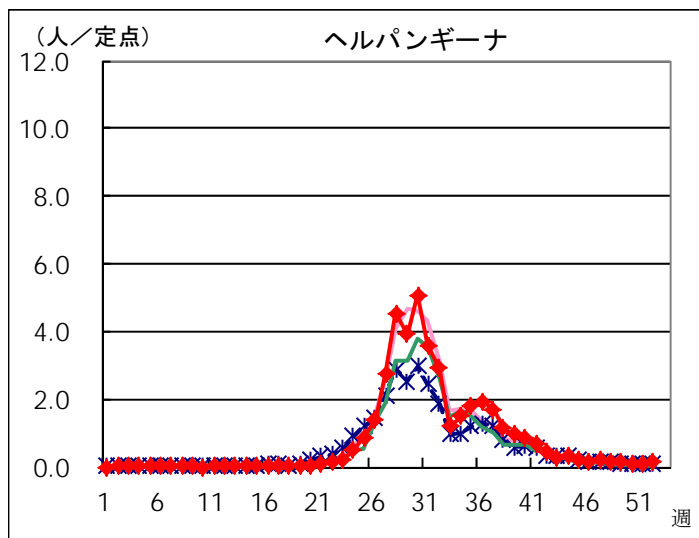
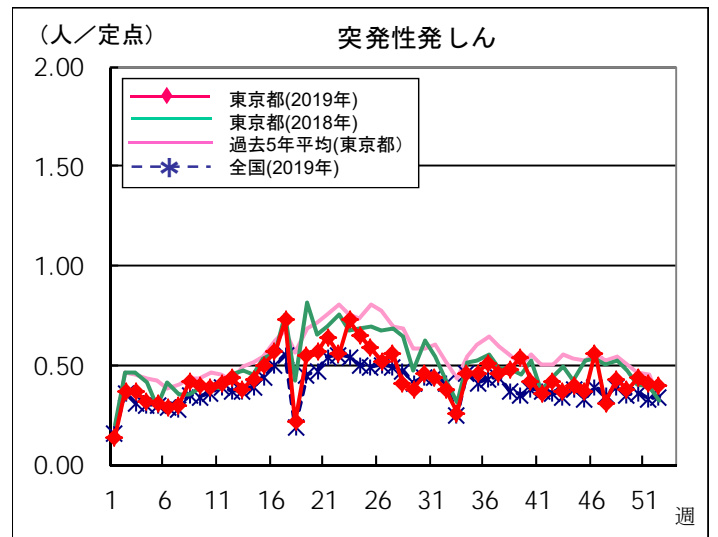
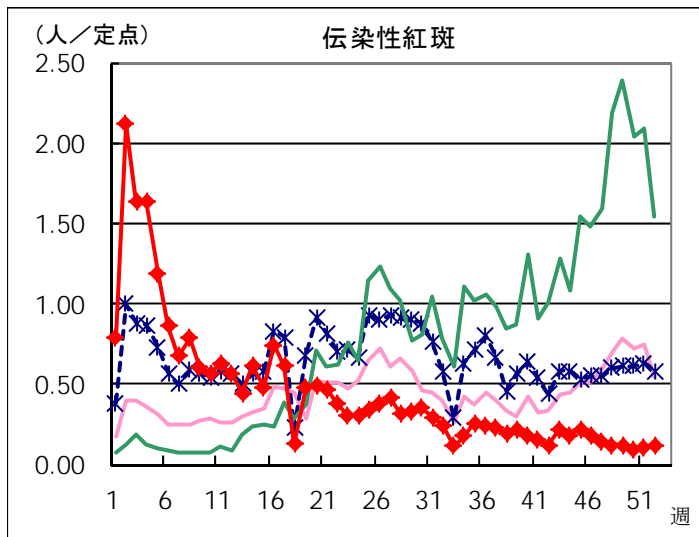
	小児科										
	RSウイルス 感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎	川崎病
千代田	2	1	3	13	1			1			
中央区		2	8	77	12	5		2	2		
みなと	1	8	20	62	3			2		1	
新宿区	6	4	22	53	1		3	1			
文京	1	1	3	21	11	1	1	2			
台東	2	9	22	74	2	6	2	1			
墨田区		1	19	28				3			
江東区	3	1	77	85	13	8		3			
品川区		9	8	92	11	11	2	1		1	
目黒区	1	4	18	55	2	1					
大田区	3	3	47	130	4	1	1	9		3	1
世田谷	2	4	41	177	9	10		3	1		
渋谷区	1	1	2	37	1	2					
中野区		4	27	54	8	7	1	4		3	
杉並		6	16	120	1	5	2	3			1
池袋	3	3	2	10					16		
北区	2	1	13	75		7		2	1		
荒川区	2	3	19	54	3	1	2	3		1	
板橋区	1	1	18	92	3			2			
練馬区		10	53	118	2	3	2	5			1
足立	10	8	29	100	2	12		3	2		
葛飾区	2		21	106	4	4	1	4			
江戸川	1	8	54	166	6	2	3	2	2	1	
八王子市	8	7	77	169	16	27	2	5	1		
町田市	1	4	38	90	5	22	1	4			1
西多摩	1	3	26	63	5			1			
南多摩	1	2	20	77	1	13	1	3		2	
多摩立川	1	6	16	155	8	16		2			
多摩府中	4	22	70	179	12	21	6	14	6	1	
多摩小平	8	18	74	151	17	18	2	19		1	
島しょ	1										
東京都合計	68	154	863	2,683	163	203	32	104	31	14	4

	小児科	インフルエンザ	眼科		基幹					
	不明 発しん症	インフル エンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズマ 肺炎	クラミジア 肺炎	感染性 胃腸炎 (ロタウイルス)	インフル エンザ 入院
千代田		87			1	1	1			1
中央区		70		4						
みなと		159						2		1
新宿区		188				1	1			6
文京		183								3
台東	1	131								
墨田区	1	128					1			6
江東区	1	301								
品川区		153								
目黒区		143								
大田区	1	380					1			3
世田谷	2	577								23
渋谷区		102		3			5			3
中野区		239								
杉並		353		1			2			15
池袋		166		3						
北区		216								
荒川区		182								
板橋区		315								1
練馬区	2	372								
足立	2	466		2						
葛飾区	2	336					2			7
江戸川		382	1	1						
八王子市	2	684								2
町田市		425								
西多摩		321								2
南多摩		410								
多摩立川		425		4						4
多摩府中	1	907		3						15
多摩小平		733								8
島しょ		61								
東京都合計	15	9,595	1	21	1	2	13	2		100

# 定点把握対象疾患 定点医療機関当たり報告数(2019年52週 現在)

## ◆ 小児科定点

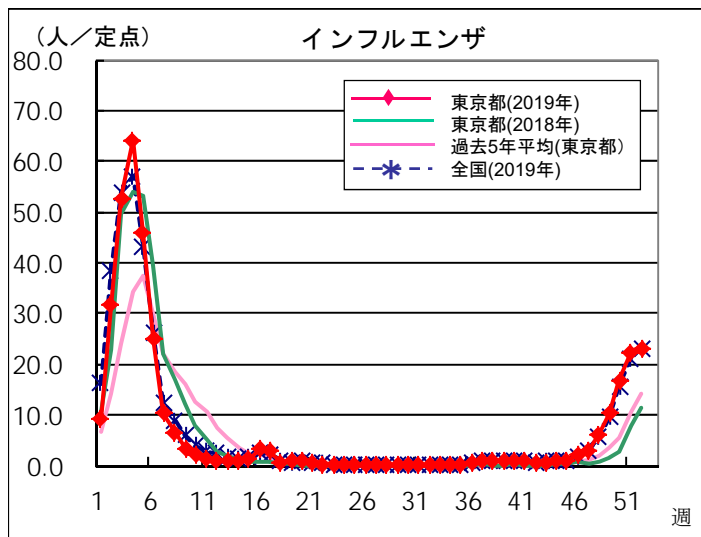




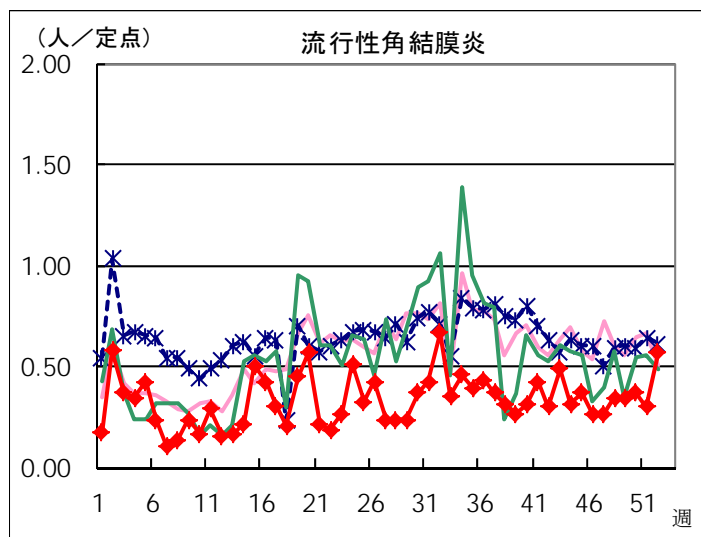
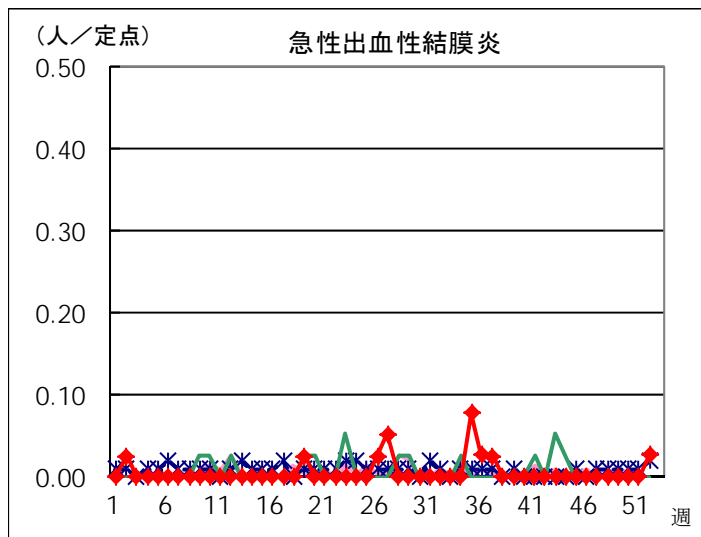
※ 東京都独自対象疾患

※ 東京都独自対象疾患

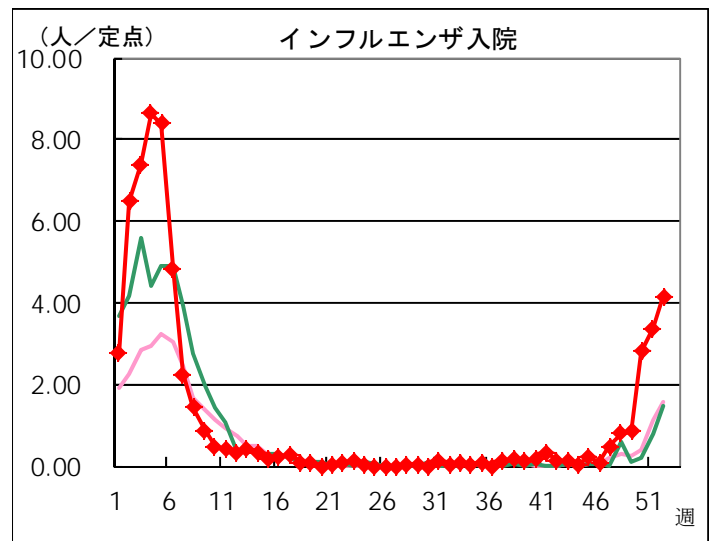
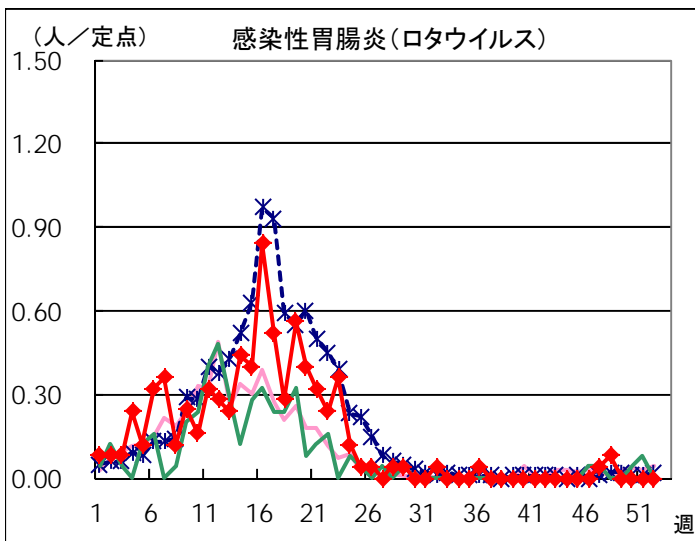
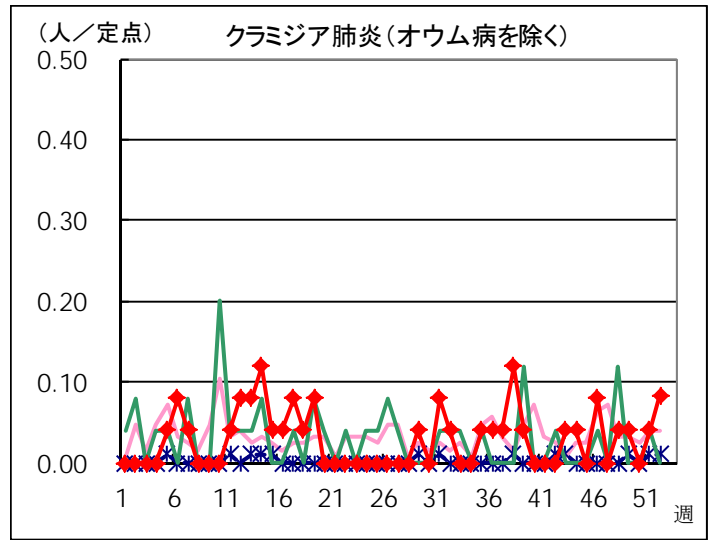
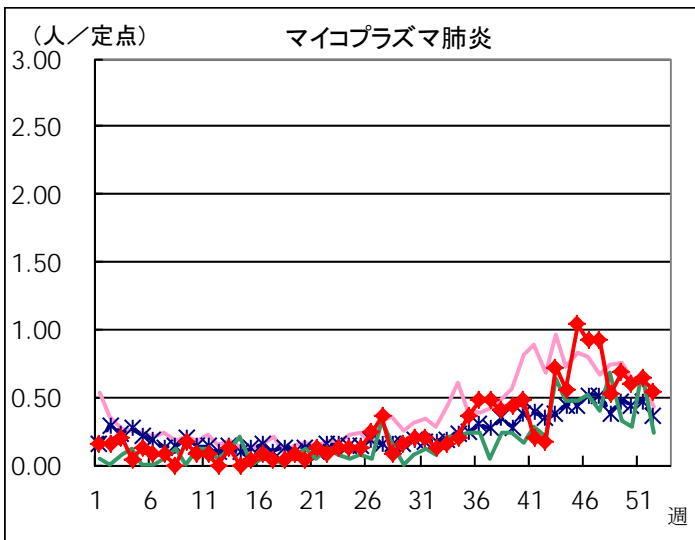
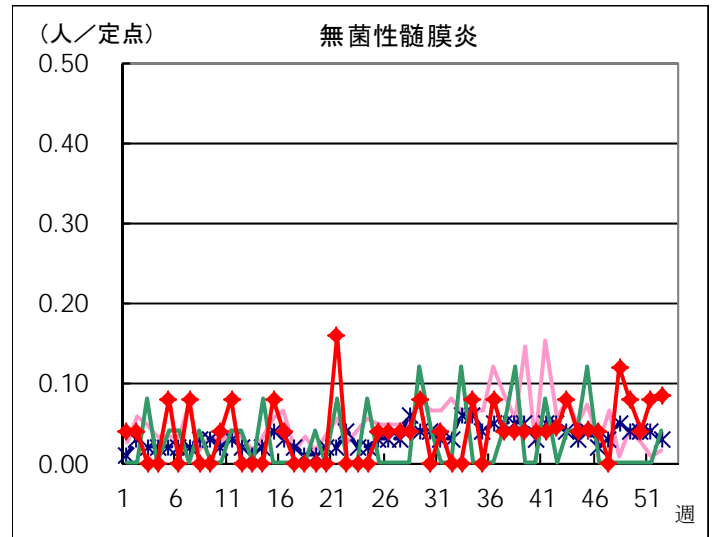
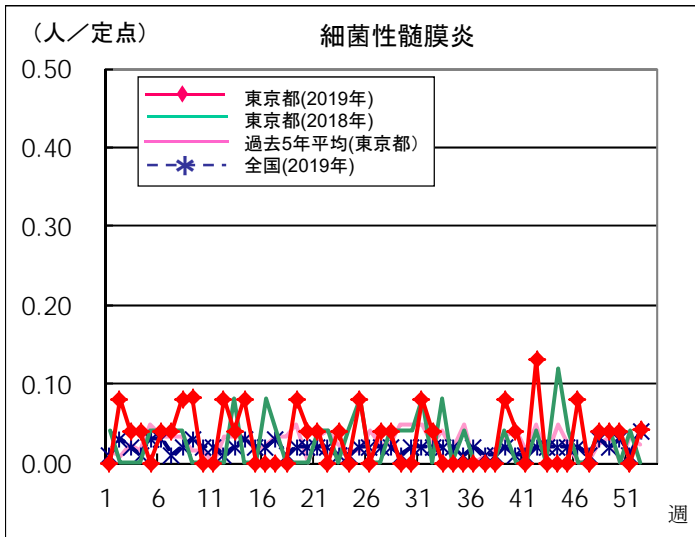
◆ インフルエンザ定点



◆ 眼科定点



◆ 基幹定点



## 定点医療機関から搬入された検体の検査情報

◇病原体検出状況(インフルエンザウイルスを除く)

採取日	臨床診断名	年齢	検査試料	検出病原体
10/30	マイコプラズマ肺炎	4	咽頭拭い液	肺炎マイコプラズマ(遺伝子・分離)
11/6	マイコプラズマ肺炎	8	咽頭拭い液	肺炎マイコプラズマ(遺伝子・分離)
11/14	マイコプラズマ肺炎	12	咽頭拭い液	肺炎マイコプラズマ(遺伝子・分離)
11/15	マイコプラズマ肺炎	3	咽頭拭い液	肺炎マイコプラズマ(遺伝子・分離)
11/22	インフルエンザ様疾患	7	咽頭拭い液	アデノウイルス3型
11/27	マイコプラズマ肺炎	8	咽頭拭い液	肺炎マイコプラズマ(遺伝子・分離)
12/3	咽頭結膜熱	1	咽頭拭い液	アデノウイルス5型
12/3	不明発しん症	3	咽頭拭い液	ライノウイルス
12/4	手足口病	4	記載なし	コクサッキーウイルスA群16型
12/4	手足口病	9	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA群16型
12/7	咽頭結膜熱	1	咽頭拭い液	アデノウイルス
12/9	手足口病	4	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA群16型
12/9	手足口病	5	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA群16型
12/10	不明発しん症	11M	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス6型

◇遺伝子検査法によるインフルエンザウイルスの亜型別検出件数

	AH1pdm09	AH3亜型	B型Victoria系統	B型Yamagata系統
2019年50週	31			
2019-2020年 シーズン累計*	128	3	1	

\* 2019-2020年シーズンの開始は第36週(2019年9月2日～)

## 病原体検出情報【週別】

検出病原体	2019年							
	43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週
アデノウイルス	3	1		1	2	3	1	2
コクサッキーウイルスA群	1	1	1	2	2		1	4
コクサッキーウイルスB群							1	
エコーウイルス	1	1						
エンテロウイルス71								
その他のエンテロウイルス								
ライノウイルス	3	4		1	1	1	3	1
ヒトメタニューモウイルス								
単純ヘルペスウイルス								
水痘・帯状疱疹ウイルス								
ヒトヘルペスウイルス6型・7型	1	2					2	1
EBウイルス		1						
サイトメガロウイルス								
ムンプスウイルス								
麻しんウイルス								
麻しんA型(ワクチンタイプ)								
風しんウイルス								
風しん1a型(ワクチンタイプ)								
ヒトパルボウイルスB19								
RSウイルス	1		1					
ノロウイルス						4	1	
ロタウイルス						1		
サポウイルス							1	
インフルエンザウイルスAH1pdm09	3	5	4	13	10	15	25	31
インフルエンザウイルスAH3亜型					1		1	
インフルエンザウイルスB型Victoria系統		1						
インフルエンザウイルスB型Yamagata系統								
その他のウイルス								
A群溶血性レンサ球菌T-1型		4			3	1		
A群溶血性レンサ球菌T-3型								
A群溶血性レンサ球菌T-4型					2			
A群溶血性レンサ球菌T-12型	1				1			
A群溶血性レンサ球菌T-25型								
A群溶血性レンサ球菌T-28型				1	1	2		
A群溶血性レンサ球菌T-B3264型	1							
A群溶血性レンサ球菌その他のT型								
A群溶血性レンサ球菌T型別不能					2			
百日咳菌								
肺炎マイコプラズマ	1	2	2	2	2	1		
肺炎クラミジア								
髄膜炎菌								
B群レンサ球菌								
肺炎球菌								
インフルエンザ菌								
黄色ブドウ球菌								
大腸菌								
その他の細菌								
その他の病原体								



# 病原体検出情報【臨床診断名別】

2019年43週～2019年50週

	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	川崎病	不明発疹	インフルエンザ	インフルエンザ様疾患	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎
搬入検体数	2	10	22	12	1	13	5	8		11	2	15	101	38		1		7	10	
アデノウイルス		9												3		1				
コクサッキーウイルスA群						11								1						
コクサッキーウイルスB群																		1		
エコーウイルス														1				1		
エンテロウイルス71																				
その他のエンテロウイルス																				
ライノウイルス												3	4	7						
ヒトメタニューモウイルス																				
単純ヘルペスウイルス																				
水痘・帯状疱疹ウイルス																				
ヒトヘルペスウイルス6型・7型								3				3								
EBウイルス										1										
サイトメガロウイルス																				
ムンプスウイルス																				
麻疹ウイルス																				
麻疹A型(ワクチンタイプ)																				
風しんウイルス																				
風しん1a型(ワクチンタイプ)																				
ヒトバルボウイルスB19																				
RSウイルス	2																			
ノロウイルス				5																
ロタウイルス				1																
サボウイルス				1																
インフルエンザウイルスAH1pdm09													95	11						
インフルエンザウイルスAH3亜型													1	1						
インフルエンザウイルスB型Victoria系統													1							
インフルエンザウイルスB型Yamagata系統																				
その他のウイルス																				
A群溶血性レンサ球菌T-1型			8																	
A群溶血性レンサ球菌T-3型																				
A群溶血性レンサ球菌T-4型			2																	
A群溶血性レンサ球菌T-12型			2																	
A群溶血性レンサ球菌T-25型																				
A群溶血性レンサ球菌T-28型			4																	
A群溶血性レンサ球菌T-B3264型			1																	
A群溶血性レンサ球菌その他のT型																				
A群溶血性レンサ球菌T型別不能			2																	
百日咳菌																				
肺炎マイコプラズマ																				10
肺炎クラミジア																				
髄膜炎菌																				
B群レンサ球菌																				
肺炎球菌																				
インフルエンザ菌																				
黄色ブドウ球菌																				
大腸菌																				
その他の細菌																				
その他の病原体																				

## <感染症豆知識>

### 今シーズンのインフルエンザへの対策 (小児科の立場から)

インフルエンザの流行シーズンは例年12月～3月であるが、本年(2019/20シーズン)はシーズン開始の37週以後すでに定点当たり1.0前後で、例年より2カ月以上早く流行期に入った。例年10月前後にワクチン接種が開始されるが、今年度は流行が早いため、ワクチン接種が十分に行き渡らず、インフルエンザ患者が増加する懸念がある。

東京都の過去10シーズンのインフルエンザ患者の年齢構成をみると、0～9歳児が45～60%、10～14歳は15～20%と小児の報告数が最も多い。インフルエンザ患者が多いと合併症も多く報告されるが、インフルエンザの最重症の合併症は脳炎・脳症である。2014/15～2018/19(第17週まで)シーズンの5年間に報告されたインフルエンザ脳症は845人で、3～13歳(年齢中央値は7歳)の小児報告例が多い。致命率は近年8～9%と改善しているが、後障害を残す子どもは25%に上り、子どもの人生、家族の生活を一変させる重大な合併症である。

インフルエンザの総合対策としては、マスク着用、帰宅時の手洗い、適度な加湿、十分な水分補給、睡眠と栄養で免疫力をつける、流行期に不要な人混みへの外出を控える等が挙げられるが、インフルエンザワクチン接種に勝る予防対策はない。インフルエンザワクチン接種が患者を減らし、脳症患者を減少させると考えられ、現時点ではインフルエンザ脳症の最も効果ある予防手段である。

昨年は新しい抗インフルエンザ薬のゾフルーザ(エンドヌクレアーゼ阻害薬:バロキサビル)が発売され、小児にとってコンプライアンスの良さも含め期待された。しかしA型(A/H1N1pdm09、A/H3N2)に耐性変異株が検出され、小児科学会は「12歳以下の児に積極的な投与を推奨しない」とした。有用な薬であると想定されるが、耐性ウイルスの出現に対しては必要な対応であると考えられる。

(文責 くらさわ子ども&内科クリニック(東京小児科医会) 黒澤サト子)